

平成 28 年度市政懇談会 市長と語ろう！笠間タウントークキング 開催議事録

開催日時：平成 28 年 8 月 3 日（水）午後 7 時～8 時 30 分

場 所：上安居公民館

出席者：20 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 交通マナーについて
- 2 備品提供について
- 3 要望事項について
- 4 悪臭の対応について
- 5 耕作放棄地の調査について
- 6 敬老会に関する個人情報の取り扱いについて
- 7 消防団の統合再編について
- 8 茨城県中央工業団地笠間地区の道路整備について
- 9 人口減少対策について
- 10 移住推進の取組みについて
- 11 岩間工業団地内の道路整備について
- 12 耕作放棄地の原因と小規模農家への支援について
- 13 地域交流センターのテナントについて

1 交通マナーについて

【意見等】

岩間工業団地の企業に勤めている方で、通勤時にスピードを出している方が多い。常磐自動車道をくぐって右折した先の交差点は通学路で、登校時間に限定して交通規制することはできないか。また、市から工業団地の企業の経営者を通して、注意してもらえないか。

【回答】

その件については、7 月頃に警察に伝え、調査を進めるとの返答を得ています。手続きなどで時間がかかっているのかもしれませんが改めて伝えてみます。

また、地域からの要望ということで、工業団地の幹事会社を通して従業員に伝えていただくようにします。

2 備品提供について

【意見等】

公民館のテーブルが古くなってきているが、予算が無いので買うことができない。昨年小中学校の統廃合があったが、余っているテーブルがあれば提供いただけないか。

【回答】

統廃合により生じた余剰備品については、希望者に配布したり、市役所で使用したり、公民館に寄贈してしまい今は残っていません。学校に限らず提供できるテーブルがないか調べてみます。

3 要望事項について

【意見等】

道路のセンターラインや白線が消えているところがある。以前塗り直しの要望を出したが、まだ対応されていない。どのような状況なのかが知りたい。

【回答】

白線の塗り直しの要望は多くいただいています。県道や国道はすぐには対応できませんが、市道は通学路と学校周辺を優先して対応しています。この地区の状況については、担当課から報告させます。

4 悪臭の対応について

【意見等】

東大牧場の近くに堆肥工場があり、悪臭がひどい。以前から県の担当課に話をしているが、なかなか改善されてこなかった。半年くらい前に業者が変わり、多少良くなったように思うが、市では対応できないか。

【回答】

操業の許可に関しては県になりますが、市でも指導はしているのではないかと思います。

5 耕作放棄地の調査について

【意見等】

農業推進委員として耕作放棄地の調査を行っている。調査を行っていて感じたことは、耕作放棄地がかなり多く、特に小さな面積の放棄地が多い。この調査により、農地として使えない土地、少し手をかければ使える土地などに分類するが、その後の方向性は決まっているのか。

【回答】

4月から制度が変わり、農業委員のほか、新たに農業推進委員が就任するようになりました。推進委員の方からは、調査が大変だという声を良く聞きます。任期が3年ですので、3年間は状況を見て、その後、人数や待遇などの見直しをしていく予定です。

また、耕作放棄地についてですが、農地として使える土地に関しては担い手を探すなど活用を考えています。しかし、荒れた土地を田畑に戻すことはかな

り難しいのではないかと思います。

6 敬老会に関する個人情報の取り扱いについて

【意見等】

敬老会の説明会に出席したが、該当者の名簿をもらえなかった。何かあった時に社会的弱者の方に対応する必要があるので、区長には名簿を提供できないか。

【回答】

民生委員の方には、社会的弱者の方の名簿をお渡しています。しかし、敬老会の参加者の名簿については、参加者は社会的弱者の方ばかりではありませんし、個人情報なのでお渡ししていません。最近が高齢者に対する詐欺も増えていきますし、悪用される危険を考えてのことです。

7 消防団の統合再編について

【意見等】

第 35 及び 36 分団の団員の理解は得られていて、いつでも統合が可能である。今後のスケジュールについて、どのように進めていけばよいか。また、統合後、詰所や車は 36 分団のものを使う予定と聞いているが、やぐらも含めて古くなっている。修繕などは市で行うのか。

【回答】

統合については、地域の合意形成が得られていて、例えば平成 29 年 4 月に統合しますと報告をいただければ、修繕等も含めて対応をします。基本は平成 30 年度の統合ですが、その年に統合が集中してしまうと大変なので、平成 29 年に前倒しで統合できるのであれば、そのようにお願いしています。統合の時期については、後援会費のことなど考えるべきことがあると思いますので、地域でよく話し合っただめてほしいと思います。

8 茨城県中央工業団地笠間地区の道路整備について

【意見等】

工業団地周辺の道路整備状況はどうか。

【回答】

茨城県中央工業団地笠間地区には、ペットボトルの再生企業であるジャパンテックを誘致することができました。更に誘致が進めば道路整備に弾みがつくかもしれないませんが、県としては道路を優先して整備するという方針ではないと思います。

9 人口減少対策について

【意見等】

人口減少が進んでいるが、どのような対策を考えているのか。

【回答】

市の年間の出生者は約 550 人に対し、死亡者は 900 人ほどとなっています。地区ごとの人口増減の傾向ですが、笠間地区が最も減っています。岩間地区も減っていますが、笠間地区よりは緩やかです。一方、友部地区は増加傾向にあり、特に県立中央病院付近は宅地開発も進んでいます。このことから、インフラの整備は、友部地区を重点に行うと費用対効果が高いのではと考えています。

人口減少抑制策としては、就職で東京に転出した方に戻ってきてもらうことが大切です。18 歳から 25 歳くらいの若い世代の人口は特に少なく、東京圏や水戸市に出ていく方が多いです。若者に戻ってきてもらうために、まずは働く場所を作ることです。また、子育て支援に力を入れていくことも大切です。笠間は比較的子育て支援が充実していると思いますが、うまく PR できていない部分があるかもしれません。

10 移住推進の取組みについて

【意見等】

常陸太田市では、移住者に住宅を無償提供すると聞いた。そのような取組みはしないのか。

【回答】

今現在、住んでいる方に対する支援とのバランスがあります。移住者に手厚く支援をし過ぎてよいのか考える必要があります。移住者に金銭的な支援を行うよりも、保育料を下げるとか、医療費が無償となる年齢を引き上げるとか、全体が恩恵を受けることに予算を割くことが大切だと思います。

移住に対する取組みとしては、空き家バンク制度があります。これまでに 30 人くらいの方がこの制度を利用して空き家に住んでいます。少し直せば住める空き家をお持ちの方がいれば、情報を提供いただければと思います。

また、市では空き家の解体に 30 万円を上限として補助金を出しています。3 年前にスタートしましたが、今年は 7 件が対象物件となっています。空き家については、まだ解決できてない空き家が 90 件くらい残っています。土地と建物の所有者が違う、所有者が遠くに住んでいるなどの事情があると対処が難しい場合があります。現在、土地に建物が建っていると、固定資産税が 1/6 になります。

今年度、専門家を招いて設置した委員会では、空き家の認定を受けると建物が建っていても固定資産税の減免措置がなくなることにしました。今後はわざと建物を残しておくケースは減ると思います。

なお、空き家政策については、4 月から都市計画課に空家政策推進室を設置し

て、空き家に対する取組みを一元化しています。

11 岩間工業団地内の道路整備について

【意見等】

道路が狭い、排水も水道も通っていないとなると、立地する企業はないのではないか。簡易舗装でもよいので道路を広げておけば、立地企業も増えるのではないか。

【回答】

まずは地権者との話が先なので、今度機会を設ける予定です。

12 耕作放棄地の原因と小規模農家への支援について

【意見等】

耕作放棄地の原因は何か。また、認定農業者や集落組合には県でも補助があるが、小規模農家への補助は見当たらない。岩間は小規模な農家が多いので、小規模農家へ支援をしてほしい。

【回答】

耕作放棄地になるのは、いろいろな理由によります。高齢により農業を辞める。米価が下がったので稲作を止めるなどです。

農家への支援は、特に米の場合は、国の方針が基本になります。国の方針としては、認定農業者や法人などに支援をして専業農家を育てようとしています。市でも同様の考えですので、補助金についても同様の傾向となっています。長いスパンでみて、自立できる農家を育てていくことが大切だと思います。ただ、その過程で小規模な農家への支援も考える必要があると思っています。支援については、農政課に問い合わせしてみてください。

13 地域交流センターのテナントについて

【意見等】

友部駅前に地域交流センターができるが、どのようなテナントが入るのか。

【回答】

岩間駅西側の広場にも交流センターを建てる予定です。交流センターの中にはテナントを入れるのではなく、市民の方が会議などで利用するためにスペースを貸し出すこととなります。公民館の場合は利用に制限がありますが、交流センターはなるべく自由に使えるようにする予定です。パーティーや健康づくり、農産物の販売など、幅広く利用していただけたらと思います。